

「イベント」に頼らないオリエンテーリング —新型コロナの長期化を踏まえた提案—

三河OLC 前田裕太

要約

◆問題意識

- ・大会や練習会など「イベント」形式のオリエンテーリングは当面、困難な状況が続きそう
- ・本来は個人競技 → 人が集まらなくてもやれる方式を模索すべきでは？

◆具体案

- ①NaviTabiでパークO
- ②静岡県協会がやっているサマーチャレンジのようなものを全国で展開
- ③サマーチャレンジとNaviTabi組合せ

◆利点

- ・外出自体が禁止にならない限りやれる
- ・低い感染リスク
- ・コロナ終息後も普及活動や日頃の練習に利用できる

新型コロナとオリエンテーリング

- ・「密閉空間」「人が密集」「近距離での会話」がNG
- ・屋外で個人で行う運動は人と接近しない限りリスクは少ない
 - ・個人での登山：○
 - ・個人でのランニング：○
 - ・個人でのオリエンテーリング：○、のはずだが … (やれる環境が無い)

オリエンテーリング団体の取り組み

- ・多くの団体が何とか大会や練習会を開こうと頑張っている
(会場含め感染が起きにくい条件の整備、地元との交渉)
- ・しかし直前になって中止・延期されるケースが頻繁
- ・学校や会社等でも強い自粛要請・・・開催されても行きづらい参加者も

労力を割く方向性は今のまま(大会・練習会を何とか開催)で良いのか？

**人が集まらずともオリエンテーリングを出来る環境の整備に
今後しばらく注力してみてもどうか？**

個人でやれるオリエンテーリング

- (1) パーマネントコース
 - (2) サマーチャレンジ(静岡県協会)
 - (3) NaviTabi
- どれも十分活用されているとは言い難い

パーマネントコース

- ・ JOAのホームページにコースの一覧表有り 全国に700以上
<http://www.orienteering.or.jp/pc/list/>
- ・ 地図は地元の店や駅などで購入 またはコンビニのネットプリント

◆練習会等の「イベント」の代わりとなりうるか？

- ・ 計時が無い
 - ・ O-map率が低い (愛知県などO-map率の高い地域も)
 - ・ 経験者には易しすぎる
-
- ・ 新歓を行えない大学クラブ等で代替手段として使う手は有りかも？
(興味のある新生に紹介→Lineでフィードバック等)

サマーチャレンジ

- ・ 静岡県オリエンテーリング協会が富士地区で実施
- ・ 牛乳パックによるミニフラッグを使用(計時無し)
- ・ 元々は夏だけだったが近年はほぼ通年に近い
- ・ 個人利用であれば申請は短期で済む
- ・ 団体利用の場合は通常のトレイン利用と同様の手続きが必要

NaviTabi

- <https://navitabi.co.jp> で公開されている無料のスマホアプリ
 - スマホでナビゲーションしながらポイントを回る(計時有り)
 - 3/29現在、全国30都道府県に計182コース
 - **利用者が独自にコース作成・掲載できる**
 - 基本は国土地理院地形図だが**O-mapを使ったコースの掲載も可能**
- ⇒**使い方次第でかなり本物のオリエンテーリングに近づけられる可能性**

NaviTabi(コース作成)

◆コース作成時の主な選択項目

- ・コース種別：ポイントO/スコアO
- ・パンチ方法：手動パンチ/自動パンチ/手動パンチ+撮影
- ・パンチ反応距離：20m/30m/40m/60m（範囲内に入るとパンチ可能になる）
- ・現在地表示：有効/無効

◆利用人数

無料プランでは1コースにつき1日20人以内の制限有り
(感染症対策としては好都合)

◆O-mapの使用

- ・コース作成者がO-mapの著作権を持っていることが前提
- ・コースを公開する場合：当面無料
- ・コースをパスワード付き限定公開の場合：20,000円

提案①NaviTabiでパークO

◆メリット

- ・交通事故の心配が無い → オリエンテーリングのように思い切り走れる
- ・公園でフラッグ等設置無しであれば涉外も不要
- ・計時ができる、正しい地点の通過を確認できる

◆課題

- ・地理院地図だとどこを通れるか不明
- 通過可否が分かる程度の簡易O-mapをコース作成者が自作して公開とか？
(短時間で作れる & 既存O-mapと競合しない程度のもの)

◆留意点

- ・円の中心から20m以内に入ると反応してしまう
- なるべく「出戻り」を避けたコースにする
- ※ポイントO形式の場合、次に行くコントロールしか反応しないので
近接コントロールがあっても大丈夫(チェック済み)

提案②サマーチャレンジ

- ・現状、サマーチャレンジは静岡県富士地区のみ(私の知る限り)
- ・「イベント」を開きにくい現状下、
**全国各地のオリエンテーリング協会・クラブ等で
サマーチャレンジ的な取り組みに注力してみてもどうか？**
(時期的には「スプリングチャレンジ」と言うべきかもしれない)
- ・運営内容
 - ①長期間ミニフラッグを設置する許可を取る(ここが一番難しそう?)
 - ②コースを作成
 - ③ミニフラッグを設置(紙コップ等、身近にあるものを利用)
 - ④利用ルールを策定・公開(静岡県協会のやり方が参考になる)
 - ⑤利用希望者からの申請に応じて地図送付等の対応

提案③サマーチャレンジとNaviTabi組合せ

◆目的

- ・組み合わせることで「計時付きサマーチャレンジ」を実現

◆方式

(1)NaviTabiにO-mapでコースを掲載

(2)NaviTabiには地理院地図を使用し、紙のコース図を別途販売
(普通に紙の地図で回ってスマホをEカード代わりに使うイメージ)

(2)の方式なら無制限な利用による渉外リスクや地図使用料等の問題を回避
(フォレストをNaviTabiの地理院地図だけで回るのは精度的に実質無理なので)

◆バリエーション

- ・ 渉外上「林内への立ち入りはOKだが長期のフラッグ設置はNG」の場合、NaviTabiだけにする手もあり(正しく回れたことはNaviTabiで確認できる)
- ・ パーマネントコース + NaviTabiの組合せ ※既に3例有り

長期的な利点

「イベント」に頼らないオリエンテーリング環境の整備は
新型コロナ終息後も恩恵が大きいと思われる。
なぜなら・・・

今まで：オリエンテーリングの機会の数 \div 大会の数

- ⇒
- ・普及活動における体験の機会が少ない
 - ・ステップアップのための練習の機会が少ない
 - ・予定が空いていても大会が無いとオリエンテーリングをやれない
 - ・機会を増やそうとすると少数のオリエンティアに大きな運営負荷

「イベント」に頼らないオリエンテーリング環境が整備されれば
登山やランニング同様、オリエンテーリングも
「いつでも、どこでも、誰でも、一人でも」
やれるようになる (メジャースポーツ化への1歩)

まとめ

新型コロナが長期化する中、多くの団体がどうにか大会を開こうと奮闘
しかし結局、中止や延期になるケースが多発

力を割く方向性を少し変えてみませんか？

「イベント」に頼らないオリエンテーリング環境の構築に注力しませんか？

具体案として以下の3案を提示

- ①NaviTabiでパークO
- ②サマーチャレンジを全国で展開
- ③サマーチャレンジとNaviTabi組合せ

★コロナ終息後も長期的な恩恵(普及活動・練習の機会を増やせる)

★方法は上の3つに限りません。他にも良い案があればぜひ。